

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている ・方針・実行計画は未端まで周知されて、社員は理解をし、やりがいを感じている								8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している ・取引先に対し、不当な圧力がないか、定期的にチェックしている										10									16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・責任者(担当役員)、管理者を任命している ・企業行動指針のもと、「持続可能な社会に会社」を具現化する組織体制となっている																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標等知的財産権の管理をしている ・知的財産に関する研修や勉強会を行っている								8.2 8.3	9										16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・当社社員と協力会社の社員のコミュニケーションを密にして、ともに成長していく関係を構築している(安全・技術・品質・環境・生産性の取り組みや、技術者不足解消に向けた協力等) ・地域の声(特に苦情)を大事にし、コミュニケーションをとるために定期的イベントを行っている																		16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取り組み状況を確認している					5				8		10								16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・定期的に避難訓練を行っている ・BCPを策定している											9		11			13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継計画の策定を行っている ・後継者候補を定め、指導・育成に取り組んでいる									8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								5				8						12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント研修を実施している ・ハラスメント相談窓口を設置している ・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ISO45001を取得している ・朝礼にて安全確認を行っている ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている					5.5				8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日・時間単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励、テレワークを実施し、育児、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている			3		5.5				8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務や役割に応じた研修の整備を実施している ・研修費用の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している(1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士、その他)				4	5.5				8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼時に事故への注意喚起、健康状態を把握しあっている ・年1回の健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている ・40歳以上の従業員への人間ドッグ受診(1年に1度)の費用を全額補助している			3						8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性管理職12.5%が活躍している ・定年後の高齢従業員の継続雇用に取り組んでいる				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ZOOMを使ったウェブ会議を積極的に導入している ・対面での打ち合わせは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している ・テレワークを実施している			3						8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている ・建設システムを導入している ・クラウドでの写真管理を行っている									8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・認定されている				3	4				8	9						12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置しているほか、事務所蛍光灯にはLEDを使用し、節電に取り組んでいる							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している ・使用するガソリンなどの燃料や、電力・ガスの使用量を把握・記録している ・エコアイドルを実施している ・社用車転換の際にはエコカーを導入している			2.4				7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出・保護に取り組んでいる ・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる ・マイバッグ、マイボトルを持参している						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス会議の推進や業務システムの電子決裁化などによる用紙の節約等を行っている ・エコマーク商品の購入、再生資材等の使用、仮設材等の再使用を行っている ・再生利用可能なものと有害物質を分別し、適正な処理を実施している								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・自社の水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している ・浄化槽の法定検査を受けている						2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b		11.5		14.1 14.2 14.3	15	17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ISO14001を取得している ・紙の購入量の削減、グリーン購入率の向上に向け、可能な限り取り組んでいる									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社員に規格外の農林水産品や、廃棄直前の商品を購入するように呼び掛けている	1	2					6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域の緑化活動、ボランティアに参加している											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光発電システムを本社の屋根に設置している ・日頃より節電に取り組んでいる								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・現場で出た廃材を、当社が指定管理をしている美里町のキャンプ場にて薪として再利用している						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・自社所有(美里町洞岳)の土地に植林(梅檀の木)をしている						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・不知火海沿岸の清掃ボランティアに積極的に参加している												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・工事で発生するCO ₂ 排出削減に取り組むため、省燃費運転(アイドリングストップの励行等)、車両・重機の適正整備を行っている							7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

